別紙３　機能要件一覧

Ⅰ．利用者向け機能	
1	簡易検索と詳細検索を用意すること。
2	詳細検索では、コンテンツの種類、対応デバイス等による絞り込みができること。
3	書名・著者等のふりがな読みでの検索が行えること。また「ひらがな」「カタカナ」の区別なく検索が行えること。
4	検索語を入力しなくても検索ができること。
5	ジャンルによる絞り込みができ、児童書は別集計が行えること。
6	IDとパスワードでログインすることにより、貸出・閲覧・返却・予約が行えること。
7	ログイン後の利用者画面で、貸出一覧、予約一覧を確認することができるとともに、返却、貸出延長、予約取り消し、パスワード変更が行えること。
8	貸出期間が過ぎたら自動的に返却されること。
9	貸出中の書籍は予約ができること。
10	予約中のコンテンツが用意できたことが利用者画面上で確認できること。
11	貸出の延長が行えること。
12	新着案内を閲覧できること。
13	特集を閲覧できること。
14	利用者向けの日本語のマニュアルがあること。
Ⅱ．ビューワ機能（以下はすべて国内出版物コンテンツについて）	
1	書誌情報が確認できること。
2	自動ページ送りができること。（注１）
3	文字の大きさを変更できること。（注１）
4	コンテンツは文字データの機械読上げが行えること。（注１）
5	色反転表示ができること。（注１）
6	読上げのスピードを変更できること。（注１）
7	誌面全体の拡大表示が行えること。（注１）
8	書籍中の任意の位置に移動できること。
9	書籍を閉じて、再度読む場合は閉じたページが開かれること。
Ⅲ．管理機能	
1	図書館側で利用者登録をCSVファイル取込等により、一括及び個別に実施できる機能があること。
2	図書館側で利用者権限の設定が行えること。（利用期間等）
3	図書館側で利用者情報の変更・削除が随時行えること。
4	図書館側で任意の利用者番号を設定できること。
5	利用者情報に生誕年を登録することにより、年代別統計が行えること。
6	新着案内の表示順の変更や削除が行えること。

7	特集の登録・変更・削除が行えること。
8	図書館側で独自資料を登録できること。登録できるファイル形式は、ＥＰＵＢ３（注２）、ＰＤＦ、ＭＰ４、ＭＰ３等、多様な形式に対応していること。
9	独自資料の一括登録が行えること。
10	独自資料の変更・削除が行えること。
11	利用状況を分析するのに必要な各種統計を集計することができ、CSVファイル出力が行えること。
12	NDC分類別の利用統計が行えること。
13	管理者向け日本語マニュアルを用意すること。
14	翻訳機能を使用することなく、日本語表示で管理機能を使用・操作が行えること。
注１：コンテンツタイプ、出版者の許諾、コンテンツ作成状態によりできないコンテンツがあることは可。 注２：一般社団法人日本電子書籍出版社協会ＥＰＵＢ日本語基準研究グループ「ＥＰＵＢ３日本語ベーシック」準拠。	